



6 月 号

昭和58年6月1日

編集/発行

岡崎市教育委員会

「ピッピッピッピッピッピッ」

五月の空に軽快なマーチが流れ、

青と黄のポンポンの波が

右に左に大きく揺れる……

岡小っ子一八名の春の

交通安全鼓笛パレード。

学区一巡のみことな演奏に

道行く人々の大きな拍手がおこる。



(交通安全鼓笛パレードー岡崎小)



子どもの頃

市川 晃

—教育随想—

私の子ども時代も、知らないことを知りたいと思ひ、できないことを、できるようにになりたい願ひは持っていたよつだ。しかし、この二つのことが、なぜか学校では、しばしば阻害されたように思う。一番印象に残るのは時間割である。たいていどの授業も盛り沢山で、できなかつた所は宿題というこゝになり、家で教科書をよく読んでおくことになる。

理科の時間には、実験がおもしろくなり、疑問や問題が湧いて、興味津々となつたところでも、鐘が鳴ると、次の時間になつてしまふ。

体操の時に、軽装で運動場に出るのは実に気持ちよかつた。心身ともに開放される。飛び箱や鉄棒に挑戦する。しかし、もう少して逆上りができるといふのに、また鐘が鳴つて次の授業になつてしまふ。一週間あとの体操の時には、体の調子が

悪かつたり、意欲もなくなつてしまつてゐる。時間割といふのは、なんだかおもしろくなる前にいつでも時間がなくなるように組まれていた。友達と山や川で過ごした遊びのように、日が暮れても続いていたような充実感がなかつた。

また、知りたいという欲求が起こる前に、覚えなければならぬことが多すぎて、これにも困惑した。自分の好きな本を読んでゐる時のような豊かさがなければ、自分の体が、覚える機械になつてしまつたような惨めさと焦りを感じた。

こうしたことは学期末の試験などに集中するので、仕舞いには試験が嫌いになり、余分なことまで覚えて、無駄をしているのではないかと疑うようになった。それでも、先生は尊敬していたので、先生の言うことはよく聞いた。

田舎のことだから、畑や山仕事を手伝

つて、自然の中で過ごすことが多く、村の古墳や古城跡などよく知つていた。また山頂から三河湾を望んだり、豊橋の町が見えると、自分たちの住む所以外にも、もう一つの別の世界があるように思われて、視野が急に広がつたように思われたりした。写生会や剣道の試合で、他校の子どもたちと一緒にになると、競争心がわいたり、逆に、とても町の学校の連中には勝てないような劣等感に襲われたりもした。今のように交通の便も良くないし、テレビのような情報もなかつたので、外国の子どもたちと一緒に絵を描いてゐるように緊張したものである。しかし、それは、なぜか心地よい緊張感でもあつた。

思い出すままに、小学校時代のことを書いてみたが、今では「自ら学ぶ学習」が行われたり、スマートなオープンシステムの学校さえできてゐるので、はじめに記したようなことはなくなつたらう。

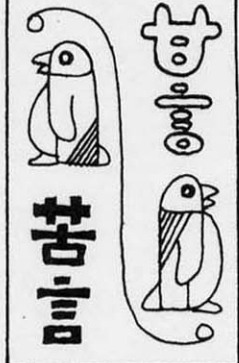
先年インド旅行の時、ニューデリーの公立中学校を見学した。校舎を改築中で、教室や職員室にあたるテントを幾つも校庭に立ててゐた。体育の授業中の女子生徒が、早速インド舞踊で私たちを歓迎してくれた。それは愛情あるやさしい行為であつたが、何となく旧式で泥臭いものであつた。また文化大臣H・K・L・バガット氏を訪問した時「インドは決して工業化を急いではいない」と言う彼の風貌の中に、私はなぜか、五十年前の小学校長F氏の顔をタブラせていた。

(画家・愛教大教授)

板書のタイミング

岡崎女子短期大学講師

野口 祐太郎



このごろ若い先生方の授業を見る機会が多い。真剣に取り組んでいることは頼もしいが、板書事項や板書の仕方がずさんであり、無雑作であることが苦になる。改めて板書の機能の重要さをしみじみ考えさせられたものである。

学習指導では、教師のはたらきかける過程が大切である。したがって、発問・資料・学習形態などと有機的に関連させながら、タイミングよく板書して理解させることが肝要となる。

● ここでは「何を」押さえるかといふねらいをまずはっきりさせて発言を引き出し、その内容を整理して板書し、理解させていく。

● 次いで、いろいろな発言を引き出して、その考えを確かめ比べさせ、練り上げながら板書し、追究を深めていく。

● さらに考えを確かめながらまとめ合い、線で結んだり、色チョークで関連づけたらして構成的に板書し、学習内容を筋だてて理解させていく。



ふるさとシリーズ
— この人に聞く —

宮大工一筋

杉浦 豊氏

この地方でただ一人の宮大工杉浦豊さんの自宅に隣接する徳正寺境内には、高さ八メートルの三重塔がある。これは杉浦さんの手により、十年がかりでこの一月に完成されたものである。

「誇りを持つる仕事をここまでやり続けてきて、ほんとうによかったと思っっている。長年の夢は三重塔を造ることだった。しかし、京都や奈良でもめったにない仕事、そこで暇をみては自費で造ったんだよ。」

杉浦さんは尋常小学校を卒業すると同時に、父杉浦一平氏（故人）の後継者となり、宮大工の道に入った。杉浦家の宮

大工としての歴史は古い。天保元年（一八三〇年）に初代杉浦五平次が番匠（宮大工）となり、以後代々継目相続があった。杉浦さんは昭和三十四年に六代目として受け継いだ。

終戦を迎え兵役から解除されると、杉浦さんは本格的に杜寺仏閣建築の仕事を開いた。昭和二十三年から昨年までの三十五年間に設計・施行した杜寺仏閣は、市内上地町の八幡宮拝殿、西尾市寄近の法蔵寺本堂、豊田市上郷町の八幡杜拝殿など四十か所近くにもなるという。

「わしはね、ほんとうの宮大工というのは、自分で設計から施行までできないといけないと思うんですわ。国宝物についても、学者の言うとおりに器用に修復する仕事は、ほんとうの宮大工の仕事とは言えんね。」

宮大工には古くから木割というものが伝わっている。五百年千年持つかどうかは、木の割り出し寸法にかかっているんですわ。これが難しい。それに木の吟味かな。これまでに十五人、今は五人の弟子を持っているが、死ぬまで修業の気持ちですわ。」

物静かな語り口ではあるが、その中に宮大工一筋に歩んだ人の自信と気迫を十分に感じとることができる。

「最近、本格的な木造注文が少なくなってきたことが何よりも寂しい。火災のことや建築費用のこと、それに材料が少なくなってきたことなどで、コンクリート造りが増えた。実際は木造の方

が長持ちするものなんだがね。」
「先生という仕事は今ややっていることがすぐに効果として出てこなくても、子どもを卒業させ、十年なり二十年たつて現われてくるのではないかな。宮大工も同じことで、目先ではなく、百年先千年先に浮き出てくるものなんだ。」
男川小学校にある古代住居遺跡は昭和五十年夏休みに、竜美丘小学校の相撲場屋形は昨秋に、杉浦さんが手がけたものである。

余暇には自宅の竜三窯で陶芸を楽しんでいる杉浦豊さん、今なおお元気で第一線で活躍されている。

住所 岡崎市大西町西一
生年月日 大・11・1・2
職業 匠建工



つまり、子どもの主体的な追究過程に即した板書をすれば、学習も平板に流れず、ねらいに迫るような学習ができるのである。

板書は教師の顔

大門小学校長

川 辺 久 男

「今、なぜ板書を。」ということになるが、教師といえは、鞭、教壇、黒板という対語は、今も昔も変わらない。

日ごろ教師はよく口にする。「ノートは丁寧に、教科書のような文字で。数字や記号もきちんと書こう。消しゴムは使わないで。」と。さて、子供たちはその先生の黒板の字を見ている。（毎日、毎時間）黒板は、正しく教師のノートである。子供たちに毎日見せている大きな立派なノートである。この黒板ノートを自信をもって書いている教師にのみこの言葉が言える資格がある。板書は教師の顔、しかも、子供に自信をもって見せられる美しい顔でありたい。とかく教師は自分の行動に寛大で、子供に厳しく当たり過ぎる。むしろ、自分に厳しく範を示す板書のできる教師こそ現代に必要な教師である。

正しい筆順、誤字のない文章、全体構成を考えた印象に残る板書。常にこれを意識した授業を展開することのできる教師となるのが大切ではなからうか。

生きた美しい板書の構成は深い教材研究の中に生まれる。分かる授業かどうかは板書を見ればわかるのである。

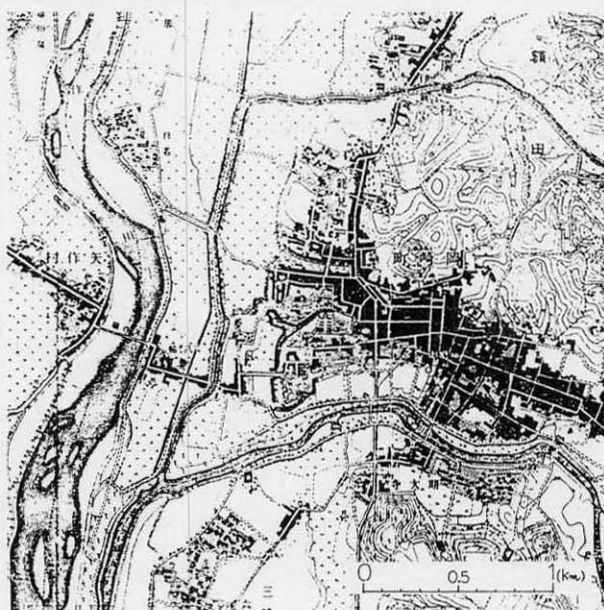
岡崎再見

42



昔今修改河川

2

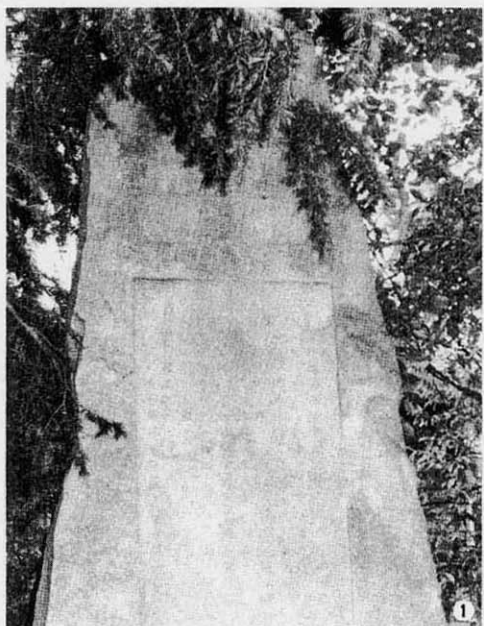


明治24年

六月はつゆ、水の季節である。矢作川をはじめ、市内の河川は、過去数限りなく増水しては、沖積地に住む人々を洪水でなやましてきた。

一方、勝手気ままに流れる河の流れに、堤を築き用水路を開削して手なずける河川改修の努力も、時の為政者の大きな課題であった。まこと、「水を治めるものは国を治める」は当地方にも当てはまることであった。

現在の河道は、必ずしも昔のままではない。多かれ少かれ、手をほどこされ形を変えている。堤を築いて河道を定めたり、流路を改めて低湿地であった所を水田に、湿地であった土地を乾田にと造り変える努力が行われてきたのである。



1

伊賀川の改修

明治の頃の伊賀川は、伊賀八幡宮の前を西に流れ、岡多線付近で大曲がりなす天井川で、度重なる水害と堤防嵩上げは大変な負担であった。

明治四十五年から大正四年にかけて、伊賀八幡宮の前から台地の末端部を切削して、岡崎城の堀につなぐ現在の流路が開削され、昭和七年から十年にかけて、再び稲熊地区を含めた大規模な改修工事が行われて、今日の伊賀川ができあがった。

河道改修と併せて、悪水路を開き一帯の沼田を美田に造り変えたが、それも今は市街地になった。

①大正期の改修工事記念碑「富国の礎」

②昭和七年、稲熊地区の堤防工事風景

③立派な桜並木に成長した伊賀川堤

矢作川や乙川の改修

矢作川の築堤に積極的に取り組んだのは、岡崎



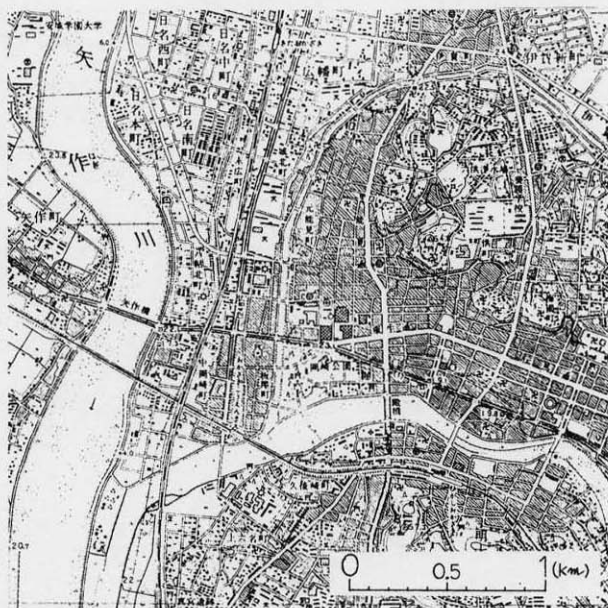
4



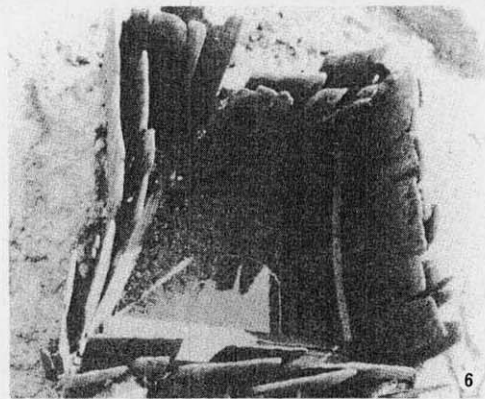
3



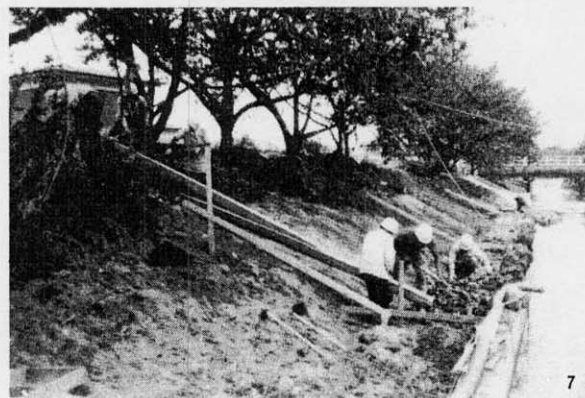
5



昭和52年



6



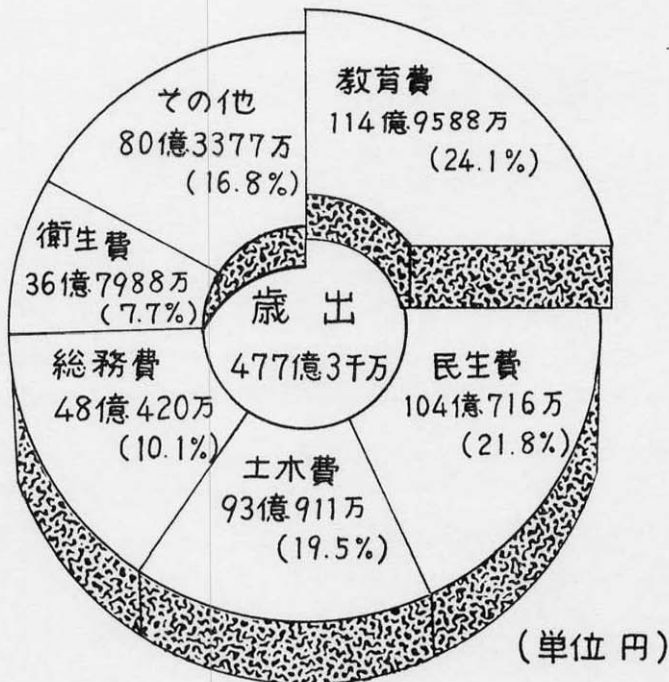
7

現代の河川改修

- ④ 明治十五年の乙川「久後切れ」の追悼碑
 - ⑤ 日名橋付近に残る旧堤防と嵩上げた新堤防
 - ⑥ 矢作川の河床から発見された古井戸の跡
- 各地で中小河川の改修も進行している。大型機械を使つての工事は、またたく間に河道を変える。
- ⑦ 乙川の改修工事風景

城を築いた西郷弾正や城下町整備に努めた田中吉政である。足利義満による六名堤築造の伝えもあるが、久後崎から南流していた乙川の流路を直接、矢作川につないだのは誰の時代であろうか。大規模な矢作川改修工事は昭和八年から実施されたが、治山治水の総合対策が本格的に進められるようになったのは戦後のことである。

〈一般会計歳出〉

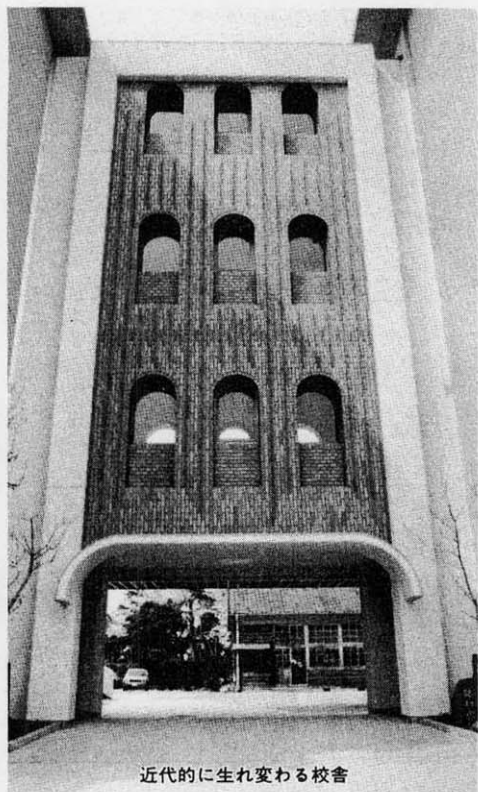


〓夢と希望に満ちた
薫り高い教育・文化の
まちづくり〓

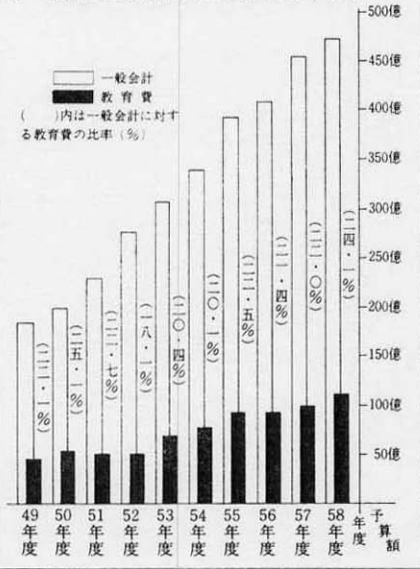
岡崎市の教育予算

ズームアップ

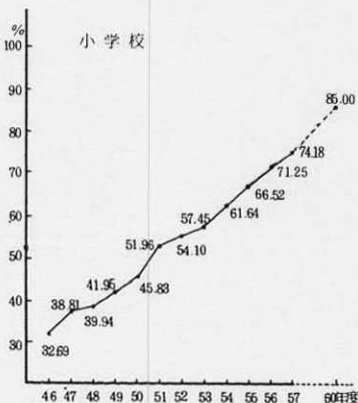
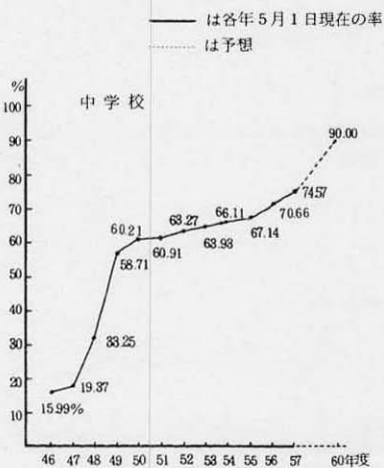
- ①義務教育施設の整備として
小豆坂小学校・新香山中学校
(仮称)を新設
- ②校舎増改築は小三校、中三校
屋内運動場小二校、プール建
設小一校
クラブハウス中三校
- ③地域文化広場の建設
- ④梅園幼稚園の全面改築
- ⑤校内放送(映像)システム設置
- ⑥中学校進路指導及び小中学校
生活指導費
- ⑦おかさき子展記念誌発刊
- ⑧遊具点検委託費



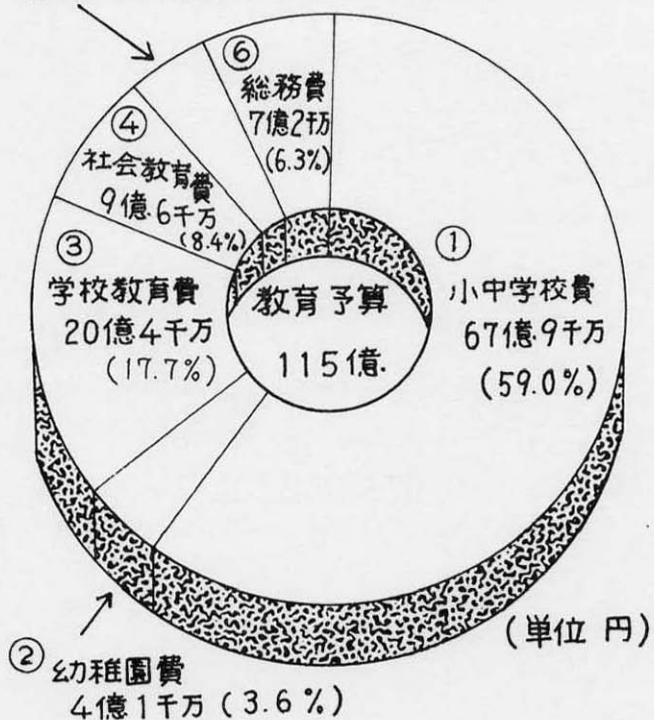
◆一般会計と教育費の推移(予算額)◆



◆校舎鉄筋化率の推移◆



⑤ 保健体育費 5億8千万 (5.0%)



- ①小中学校費
 - 昭和58年度義務教育施設整備
 - ・小学校新設 (小豆坂小学校)
 - ・中学校新設 (仮称新香山中学校)
 - ・校舎増改築 (本宿、岩津、六北、竜海中、矢作中、福岡中)
 - ・屋内運動場 (恵田、上地)
 - ・プール建設 (上地)
 - ・クラブハウス新設 (甲山、美川、南)
 - 教育用備品充実
- ②幼稚園費……………園舎の改築 (梅園)
- ③学校教育費……………対外大会参加遠征費補助、市民大学開設など。
- ④社会教育費……………図書館充実、地域文化広場の建設など。
- ⑤保健体育費……………夜間照明 (小学校二校、中学校一校) 運動広場、スポーツ開放など。
- ⑥総務費……………市史編さん費・私学振興費など。



〔仮称〕新香山中学校建設予定地

教育日々



年度がわり

矢東小 牧 喜久雄

過日、校内現職教育で授業研究会があった。参観した学年は二年生。私は、ついひと月前まで最上級生の六年生を担当していた。そして、卒業式で送ったばかりである。今は、右も左もわからぬ一年生の担任である。夢と希望に満ちあふれ、今年度のスタートをきった。まだ、学業に専念でき得ぬ子どもたちとの出会いが、入学式の日にあった。初めての経験する一年生の担任。これまでの教育理念を覆される日々の連続である。様々な形で問題にぶちあたったひと月であった。教育とはほど遠い調教のような経験を積んでしまった。高学年では味わい得ない真からの「師弟同行」と言われる生活・学習指導である。言

わなくても、やれてあたりまえと考えてきたことが、一年生にはできない。改めて、六年間の学習の積み重ねと、多くの人々に導かれて卒業をしいった子どもたちのことが思い出されてたまらない。

こうした昨今の体験をしながら二年生の授業を参観したおり、子どもたちの発表に驚きを感じた。また、文字もすらすら読み書き表すことのできない一年生と比べたら、ほんの一年間であるが、ひらがなを体得したか、流暢にことばをならべ発表しているではないか。一年間でこれだけの進展が見られることを予知すると、子どもたちの成長の著しさを見逃すわけにはいかない。



二年生の授業を参観したときの様子

の緊張感（朝から、お腹がちくちく痛み、お腹がすいたのかと昼食が待ち遠しく感じたこと）が薄れ、わが子どもたちに、授業研究会で見た、あの二年生の子どもたちに劣らぬ、もつともつとすばらしい力を持たせてやろうという意欲がわいてくる。新任だから、中堅だからという意識をぬきにして、

ヤル気

ガンバル気

勇氣

を持って、子どもたちの学習意欲を高めるような方向で教材に取り組み、研究を積み重ねていきたいと思う。

さあ、あと十一月、あの二年生の姿を思い出しつつ、日夜がんばっていききたい。

作文を読む

六ツ美中小 山田 禮子

つたない文であろうとも、まちがいがばかりが目につく字面であつても、私は、子供の書いた文を読むのが好きだ。

しんかんせんのとんねるの下をあるいていると、遠くのほうに、きらきらひかるものがありました。また少しあるいてみる

と、それわ、水たまりでした。きのうの雨がまだこつていたなと思いました。よう子がかおを出すところやんとつりました。でんしんぼうもつりました。まるでせいかがあるようでした。(小二)陽子

原文のまま

水たまりの中にある世界を想像してみるおもしろさに、はっとさせられる。そして、陽子が水たまりのまわりで、うろろろしているようすを思い出すと、また愉快になる。

大人は雨あがりの水たまりなど立ち止まって見る時間も心もないだろう。ないというより、遠い昔に忘れてしまったのかも知れない。私は、大人がいつしか忘れたこの時間と心を、子供の文を読むことによって思い出し、すつとさせられる気分がとても好きなのだ。

なぜ子供たちに作文させるのか、どう書かせたらよいか、どのように評価すべきかと言った計り知れない課題は、後まわしにしても、私は、まず子供の書いた文を、一つ残らず読みみたいと思う。

低学年は低学年なりの書きつ



ぶりでそこに写しとった命の跡をきちんと読んでやりたいと思う。子供たちの成長と私自身の成長のために。

(朝十分間で短作文を継続して書かせてみたり、指人形やたから箱の資料を作って授業を組み立てたりして二年が過ぎた。)

きょう、川はとてもふかかった。いきおいはやい。むかし一すんぼうしがここをわたったのかなと思つた。それを見たは、ずつと流れるところを見ていた。(小二)直美

朝の作文より

これからも、川のふちで立ちつくしていた直美のような心に、また出会いたいと思う。



クララ

「学習指導案参考例集」(全十七巻)

今年度完結予定

学習指導委員会の手により、一昨年度から開始した小学校「学習指導案参考例集」の編集は、いよいよ最終年度を迎える。すでに昭和五十四年度に「岡崎市小学校教育課程」が編成され、週計画の立案に活用される資料はあつた。本集はそれを一時限の学習指導案にまで具体化する手引書として作成された。今年度末には全十七巻が完結する予定である。

授業は教師の本分である。この手引書をひとつの参考にし、創造性豊かなよりよい授業の展開に努めていただきたい。すでに発刊されたものと、今年度刊行予定の書は次の通り。
▽昭和五十六年度刊行
「国語科書写の授業」「社会科

【寄贈刊行物・資料等】

- ◆到達度評価の実践 教務主任 会 B5 孔版印刷
- ◆文集「城北」No.21 城北中 A5 七九ページ
- ◆書くことを育てる 三島小 B5 一三一ページ
- ◆ふれあい(第九集) 教務主 B5 一七四ページ
- ◆給食のまとめ第七集 給食部 B5 孔版印刷
- ◆常盤のいき 常盤南小 B5 九六ページ
- ◆やまなか 学校文集第14号 山中小学校

名▽葵中一五名▽城北中一〇名▽福岡中一六名▽竜海中一八名▽矢作中一〇名▽六ツ美中一〇名▽矢作北中一七名

昭和58年度月報編集委員

- ・安藤 幸夫 (矢西小)
- ・和出 昭夫 (恵田小)
- ・渋谷 環 (緑丘小)
- ・遠山 賢治 (藤川小)
- ・成田 邦彦 (常南小)
- ・加藤 進 (福岡小)
- ・平野 安世 (連尺小)
- ・熊谷 満義 (常磐小)
- ・竹内 昭次 (香山中)
- ・梶尾 長夫 (竜海中)
- ・加藤 憲尚 (広幡小)
- ・八田 昌子 (三島小)
- ・中川 朗子 (大門小)
- ・柴田 隆夫 (葵中)
- ・杉本 佳子 (福岡中)
- ・鈴木 由郎 (矢北中)
- ・鈴木 栄二 (矢作中)
- ・岡田 豊 (河合中)

58年度 ●児童・生徒数・教職員数の実態

58.5.1現在

| 区分 | 学校数 | 学級数 (特殊) | 児童・生徒数 | | | 校長・教頭・教員数 (非常勤講師を含む) | | | 養護教員 | | 事務職員 | | 栄養職員 |
|-------|-----|-------------|--------|--------|--------|-------------------------|-----|-------|------|---|------|----|------|
| | | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 県 | 市 | 県 | 市 | 県 |
| 小学校 | 39 | 812(34) | 15,234 | 14,656 | 29,890 | 533 | 504 | 1,037 | 41 | 0 | 45 | 20 | 8 |
| 中学校 | 15 | 332(16) | 6,829 | 6,371 | 13,200 | 400 | 161 | 561 | 15 | 0 | 20 | 7 | 0 |
| 合計 | 54 | 1,114(50) | 22,063 | 21,027 | 43,090 | 933 | 665 | 1,598 | 54 | 0 | 60 | 27 | 8 |
| 57年度計 | 53 | 1,135(49) | 21,630 | 20,758 | 42,388 | 909 | 615 | 1,524 | 53 | 0 | 62 | 27 | 8 |

●学年別児童・生徒数

| 学年 | 小学校 | | | 中学校 | | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 1年 | 2,457 | 2,177 | 4,634 | 2,659 | 2,571 | 5,230 |
| 2年 | 2,377 | 2,412 | 4,789 | 2,590 | 2,563 | 5,153 |
| 3年 | 2,597 | 2,493 | 5,090 | 2,554 | 2,440 | 4,994 |

●学級・学校の規模

| | 小学校 | 中学校 |
|--------------|------|------|
| 1校当たり児童・生徒数 | 766人 | 880人 |
| 1校当たり学級数 | 21学級 | 22学級 |
| 1学級当たり児童・生徒数 | 38人 | 42人 |



点

所在地一岡崎市細川町権水

潮止め弁才天

その昔、挙母線の電車は細川から矢作川の鉄橋を渡刈に渡った。その鉄橋の東たもとの丘に蓮性院というお寺がある。細川家ゆかりの、古い歴史を持つお寺だが、現在は鉄筋のモダンなたたずまいとなっている。

このお寺の参道脇に、いば取り地蔵のほこらが建っている。ほこらの左側に、石彫りの可愛いお顔をした弁才天がまつてある。頭部が一部欠けてはいるが、とても魅力的な石仏である。

この弁天様は、潮止め弁才天と呼ばれ、寺院の中にも細川氏が代々信仰していた同形の弁才天木像がまつてあるという由

緒ある仏様である。

潮止めというと、かつてはここに海岸線があったということ連想させる。寺のお庫裏さんの話だと、昭和七年の大水害の時、下流の沖積地は、三河湾から押し寄せた塩分を含んだ水のために塩害をおこしたが、この弁天様より上流には被害がなかったという。潮止めという意味が今も生きていてということがよくわかる。

昔は、もう少し東の田のあぜに建っていたのを、工事のため現地点に移したという。しかし昔からここに鎮座していたという感じのするたたずまいである。

この本を

- * 教師の話し方 などを改善すべきか 加藤 陽郎 1,400円
明治図書
- * 東海の化石—太古の生きものたち 糸魚川淳二 1,200円
中日新聞社
- * いのちの歌 三好 京三 360円
文春文庫
- * 「食」—京都の誘惑 文芸春秋 編 580円
文芸春秋
- * 知的対応の時代 渡部 昇一 360円
講談社
- * 私の履歴書 土光 敏夫 980円
日本経済新聞社
- * 正しきものは強くあれ 一人間・土光敏夫とその母— 講談社 1,000円
字野 澄
- * 中学生英語一人歩きの勉強法 岡部 晴朗 編 1,200円
黎明書房
- * どの子も必ず救われる 東井 義雄 1,500円
明治図書
- * 女子中学生の心理 加藤 隆勝 680円
大日本図書

「おいでん、岡崎へ」家康ブームで、静かな城下町岡崎も、観光都市へと変わりつつある。つい最近、母の友人たちが連れだって岡崎見物に訪れた。日曜日のことで、岡崎公園は大変な人出だったそうである。我々にとっては喜ばしいことであるが、静かで落ちついた城下町の風情は失いたくないものである。

「自然を守ろう」「自然に還れ」…などよく耳にする言葉である。

ひと山を整地して、一大レジャー遊園地、工場建設、道路整備等、今や大きな社会的問題になっている。

幸い岡崎では、学校緑化日本一、学校林活動日本一という快挙、その他、フラワープラボーコンクール etc……



「雨の中暦の梅雨も追いつきたり」また梅雨の季節が来た。六月は別名水無月とも呼ばれており、「田植えも終わり、大きな農事をみなくした」ということから水無月が出たともいわれる。忙しさの中にも、四季の変化に目を向けて、句でも作るぐらいのゆとりを持つ毎日を送りたいものである。

「数学は嫌いだから、できが悪くても仕方ないや。」

こんなのんびりしたことは言っていられないはず。しかし、現実には、英語嫌いや数学嫌いの生徒の何と多いことか。指導要領改正で、だれもが重視している基礎基本。それを身につけさせるための学習意欲に点火する工夫も忘れまい。